

お知らせ

2020年7月1日
井関農機株式会社

愛媛大学との研究連携協定ならびに寄附講座の更新について

当社は、愛媛大学との間で締結している研究連携協定「知能的食料生産システム」ならびに、寄附講座「植物工場設計工学（井関農機）」を4月1日付けで更新しました。

安全で安心して食べられる食料の安定供給は、健康で豊かなくらしを維持するための重要な基盤です。当社と愛媛大学は、2005年に食料の安定供給に関する学術研究の振興と研究成果の地域社会活用の推進を図ることを目的として、研究連携協定「知能的食料生産システム」を締結しました。さらに2010年には植物工場の拡大普及のための研究開発および人材育成を行うため、寄附講座「植物工場設計工学（井関農機）」を開設、その成果として、2015年に業界初の「植物生育診断装置 PD6C」を商品化しました。

この度、第3回協定の満了に伴い、第4回協定（2020年4月1日～2023年3月31日）として、本研究連携協定ならびに寄附講座を継続することといたしました。当社は、産学連携による地域産業の発展および人材育成、安全・安心な食料の安定供給と自給率向上に取り組んでまいります。



複合環境制御装置により育成に最適な環境を実現



植物生育診断装置

愛媛大学と開発した植物生育診断装置等の詳細につきましては、下記をご覧ください。

- ・ 養液栽培施設の特徴

<https://www.iseki.co.jp/products/nougyou/noug-04-2/>

- ・ 植物生育診断装置

<https://www.iseki.co.jp/products/sentan/sentan-03/>

- ・ 井関農機 モデル植物工場

<https://www.iseki.co.jp/plant/>

〈研究連携協定の趣旨〉

農産物生産における情報化・ロボット化技術の研究開発拠点である愛媛大学と連携し、知能的食料生産システムの社会実装の早期化を図ります。

知能的食料生産システムは、情報通信技術（ICT）、人工知能（AI）、及び機械化・ロボット化技術を統合した最先端の栽培技術により、安全・安心な食料を含む農作物の生産性を飛躍的に高めるとともに、農業のスマート化、地域社会の活性化にも貢献するものです。

〈寄附講座の概要〉

1. 講 座 名：植物工場設計工学（井関農機）
2. 教育研究領域：植物工場設計工学（井関農機）講座は、太陽光型植物工場に関連する最新技術の創出と普及・拡大を目的とし、主にスピーキング・プラント・アプローチ（SPA）を基盤とした、植物工場管理の自動化などの知的植物工場システムの高度化と、SPAおよびロボット技術を習熟した植物工場の運営・栽培管理責任者の育成を行う。
3. 教 員：寄附講座特定教授、寄附講座特定准教授、寄附講座特定助教 各1名
4. 期 間：2020年4月1日～2023年3月31日

以 上

[リリースに関するお問い合わせ] IR・広報室 03-5604-7709

ISEKIグループは、夢ある農業応援団！ISEKIとして、お客様のニーズに即した製品やサービスの提供により、食を支える農業の発展に貢献してまいります。

